

内なる探究の時 バーバ・ムクターナンダのディヴィヤ・ディークシャー イーシャ・サーデサイ

8月15日、私たちはバーバ・ムクターナンダのディヴィヤ・ディークシャーを祝います。これは、1947年にバーバが彼のグルであるバガヴァーン・ニッティヤーナンダからシャクティパートの伝授を受けた日の記念日です。それは重大な転換点となる瞬間でした——バーバが彼の精神的自伝『プレイ・オブ・コンシャスネス』に記すように、確かにバーバ自身のサーダナーにおいて、さらにはその後、何年、何十年にわたり、シッダ・ヨーガの道を歩むことになるすべての人々にとっても、大きな意味を持つものでした。バデ・バーバがバーバにシャクティパートを授けたことは、後にバーバがシッダ・ヨーガの道を確立する道を開きました。

8月の初めに私が書いた文章を読んだなら、グルマーイが瞑想とマントラ・ジャパを今月の私たちの焦点に置いていることをご存じでしょう。これは、8月の各祝祭日を祝う際にも生かせる焦点です。

先週、バデ・バーバのプンニャティティに関連して、私はグルマーイの詩「形のない神殿」について、そして私たちを取り巻く世界がどのように瞑想やマントラ・ジャパの修行のためのインスピレーションになり得るかについて書きました。今、バーバ・ムクターナンダのディヴィヤ・ディークシャーを迎えるにあたり、今度はその探究を自分の「内側」へと向けることができます。バーバは、探究者たちに内なる世界の深みを探究することを強く勧め、外側の世界に対する私たちの知覚や体験は、自分自身について知るようになったことと直接結び付いていると説きました。バーバは、象徴的な次の教えを与えました。

あなたの大いなる自己に瞑想しなさい。
あなたの大いなる自己をたたえなさい。
あなたの大いなる自己を理解しなさい。
神は、あなたの中にあなたとして住んでいる。

文脈によって、バーバはこの教えを少し異なる言葉で語ることもありました。例えば、時には「あなたの大いなる自己を崇拜しなさい」という1行を含めました。しかし、根本的には意味は同じでした。「内へ向かいなさい」。「内側に入りなさい」。1970年から1981年の間に、バーバは3回の世界ツアーを行い、「瞑想革命」を起こす自らの意図を語りました。私はいつもこの言葉にとっても心を引かれてきました。「革命」という言葉は、私たちが「外側」の変化と結び付けがちな言葉です。それは、人々が自分たちの生活や社会、国、そして世界全体に、望む変化をもたらすために取る一連の行動です。

そうした革命によって、信じられないほど大きく、広範囲にわたる、時には激動を伴う変化が生み出されてきました。例えばインドは、バーバがシャクティパートを授かった1947年8月15日の、まさにその日に独立を果たしました。では、革命が「内側」で起こるとは、一体どういう意味なのでしょう。私が理解しているバーバの教えでは、変化は人間の心の次元においても起こらなければならないということです。実際、この変化こそが最も永続的なものです——それは、人々が自分自身の内に神性を見だし、他者の内にも同じ神性があることを認識し始める時に起こる変容です。私は以前、「この世界をより良い楽園にする」というグルマリーイの私たち皆への願いについて書いたことがあります。そのためには、まず私たち自身から始めなければなりません。

バーバがその教えの中で示しているように、私たちは大いなる自己についての瞑想を実践することができます。マントラ・ジャパを実践することもできます。バデ・バーバがバーバ・ムクターナンダにシャクティパートの伝授を受けた時、彼は、マントラ、オーム・ナマー・シヴァーヤを受けました。その後バーバは、世界中の何千人もの探究者たちに、この同じマントラを受けました。グルの恩恵を宿したこのマントラを繰り返すことで、私たちは自らの内なる大いなる自己を呼び起こしています。私たちはこう言っているのです。「オーム。私は、万物の大いなる自己であり、内なる大いなる自己であるシヴァに頭(こうべ)を垂れます」

バーバは、マントラの繰り返しの力、そしてその瞑想とのつながりについて、たびたび語りました。今、バーバのディヴィヤ・ディークシャーを祝って瞑想とマントラ・ジャパの両方の修行に取り組むにあたり、バーバの言葉に注意を向けることができます。

バーバはこう語っています。

「マントラは、あなたを瞑想の場へと運んでいく。それは魂の声である。マントラが単なるマントラ、言葉の集まりに過ぎないのは、サーダナーの間、つまり精神修行を実践している間のみである。それが実を結び始めると、それは至高の神そのものであり、あなた自身なのである」ⁱ



© 2026 SYDA Foundation®. 著作権所有。

ⁱ Swami Muktananda, *What Is An Intensive?*, 2nd ed. [S. Fallsburg, NY: SYDA Foundation, 1995], p. 13.